

# 2022（令和4）年度の取り組み状況等について

【資料2】

## ● 既存ではいなかった人材の育成及び活用【資料2-1】

→地域再生計画における「関係人口と共にデザインする全世代活躍の持続可能な伊賀市づくりプロジェクト」と地域福祉計画で掲げる地域共生社会の実現の理念に相通じるところがあることから、相互が連携することにより、取り組みを進める。

また、伊賀市職員の有志による共同研究グループに地域福祉の推進について提言をいただく予定となっている。

## ● 「保証のしくみ」を構築するアプローチ

→長年の地域課題となっている身元保証について、地域福祉計画推進本部会議から伊賀市社会福祉士会に協力を要請したところ、プロジェクトチームを設置のうえ広く意見を求めることという提言があったことから、地域福祉計画推進本部設置要綱に基づきプロジェクトチームを設置した。

## ● 民間事業者とタイアップした課題解決事業【資料2-2】

→伊賀市社会福祉法人連絡会により、ダイハツ工業（株）と協働して、介護人材不足という課題について、共同送迎介護サービスを実施して取り組みを進める。

## ● 支え合いの基盤となる新たなツールの創出

## ● 住民が集う居場所となるプラットフォームづくり 【資料2-3】

→地域資源データベースシステム「Ayamu」を活用し、地域資源を収集・把握・整理を行い、それぞれの地域に応じた支え合いの基盤や居場所となるプラットフォームづくりにつなげる。